

様式例第3号（第7条関係）

パブリックコメント実施結果報告書

| 1. 案の名称 | 朝来市生活改善センター条例の廃止についてのパブリックコメントの実施について | |
|--|---|--|
| 2. 意見等の募集期間 | 令和8年1月13日～令和8年2月13日 | |
| 3. 意見等の受付件数 | 1 件 | |
| 4. 提出方法の内訳 【人（団体）数】 | 郵便 | ファクシミリ |
| | 電子メール 1 件 | 持参 0 件 |
| 実施機関(担当課等) コメント 黒川生活改善センター 予定通り、条例を廃止し、施設は解体します。 | | |
| 提出された意見等の概要 (類似する意見については、取りまとめて掲載しています。) | | |
| 番号 | 意見等 | 市の考え方 (修正がある場合は、その内容) |
| 1 | <p>本施設の再委託契約未承認については、人口減少による集落消滅が急速に進んでいる状況と、施設水道水が未整備のため飲料水として利用不可の状況にあるため、新たな活用方法が見いだせないなどの要因と認識しています。</p> <p>只、令和3年くらいまでは、ハンザキ研究所がオオサンショウウオの調査研究を希望する学生や、麻布大学、バックネル大、オオサンショウウオ研究者などの安価な宿泊施設として、有効に活用していました。施設も徐々に老朽化が進んでいますが、上水の問題を解消すれば有効に活用できない状況ではありません。</p> <p>地域には、黒川自然環境保全条例が令和4年に制定され、その中核施設として、黒川自然公園センターが</p> | <p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>ご意見にありますとおり、当施設は建設後、40年以上経過しており、また、水道施設が利用できない状況となっております。</p> <p>黒川地域は、オオサンショウウオが大きな地域資源となっており、令和8年夏頃の（仮称）朝来市自然環境保全センターオープンに向け準備を行っています。</p> <p>黒川生活改善センターは、今後解体を行いますが、新たな施設を拠点にオオサンショウウオを中心とした研究も行っていまいります。オオサンショウウオに関する関係者を含めた関係人口の増加や地域資源としてのオオサンショウウオの更なるPRに取り組んでまいりたいと考えております。</p> |

| | | |
|--|---|--|
| | <p>オオサンショウウオを中心とした、ラボを備えた淡水魚水族館「朝来市自然環境保護施設（仮称）」として生まれ変わろうとしています。これにより、オオサンショウウオのファンや研究者からはより注目される地域となると考えられます。ちなみに、私が会員の日本オオサンショウウオの会では、黒川地域を、栃本武良先生の研究成果を基に、オオサンショウウオの聖地として捉えられています。</p> <p>以上の点から、本施設をオオサンショウ研究者や自然環境調査人などの宿泊施設として活用する方法が見いだせないものかと思います。地域人口の自然減少は止められませんが、関係人口は、地域資源を生かした活動方法により大幅な増加が見込まれると考えます。</p> | |
|--|---|--|